

監督：湯浅政明×原作：小松左京——いま描くべき日本が、ここにある

『映像研には手を出すな!』『DEVIL MAN crybaby』

『復活の日』

見届けろ。  
そのとき、  
希望は沈まない。



# 日本沈没 2020

劇場編集版 - シズマヌキボウ -

監督：湯浅政明 原作：小松左京『日本沈没』

音楽：牛尾憲輔 脚本：吉高寿男

上田麗奈 村中知 佐々木優子 てらそままさき 吉野裕行 森なな子 小野賢章 佐々木梅治

アニメーションプロデューサー：Eunyoung Choi シリーズディレクター：許平康 キャラクターデザイン：和田直也 フラッシュアニメーションチーム：Abel Gargara 美術監督：赤井文尚 伊東広道  
色彩設計：橋本賢 撮影監督：久野利和 編集：廣瀬清志 音響監督：木村裕子 アニメーション制作：サイエンスSARU 制作："JAPAN SINKS : 2020" Project Partners

© JAPAN SINKS : 2020 Project Partners

japansinks2020.com  
In association with Netflix

11.13 FRI



# 賛否沸騰でNetflix国内「総合TOP10」視聴ランキングNo.1! アニメの枠を超えた衝撃作が、 劇場編集版となって再び問う“いまの日本とは”

この作品は見る側へのたくさんの裏切りがあります。それは登場人物が乗り越えるべき苦難と同様に優しくありません。ぜひ劇場でご覧になって確かめて下さい。

—— 監督…湯浅政明



日本SF界の巨人、小松左京の大ヒット作『日本沈没』の初のアニメ化に、『夜は短し歩けよ乙女』『夜明け告げるルーのうた』等で世界的な評価を受け、『DEVILMAN crybaby』でアニメ表現の限界を突破した湯浅政明監督が挑む——

絶大な注目の中、本年7月にNetflixで配信開始した『日本沈没2020』は、“国が失われゆく人々のアイデンティティ”という1973年に刊行された原作のテーマを残しつつ、2020年現在の日本を舞台に、未曾有の事態をごく普通の家族の目線で描く大胆な設定を採用。

容赦なく襲う大災害、人種や国籍、思想や世代も異なる多様な人々、ネットを背景にした文化など、いま現在の世界がリアルに抱える事象を、アニメならではのファンタジー性と、極めて冷静な視点を交えて描きだした。

それは視聴者の感性を映す鏡の様に“語らずにはいられない作品”となり、配信後にSNSを中心に賛否両論を巻き起こし、連日更新されるデイリー国内視聴ランキングのNo.1を連日記録した。

本作では、全10話のストーリーを、劇場版として湯浅監督の手による編集で再構築、5.1chの劇場仕様の音響と共に、“令和における日本沈没”がより鮮明な映画として生まれ変わった。

沈みゆく日本、人々はどこへ向かい、我々はこの事態をどう見つめるのか？ 命のバトンをつないだ先にある希望とは？

否応なく究極の選択を突きつけられた人々が向き合う現実と再生の物語が、いま始まる！

## 失われゆく日常、そして日本。それでも人は前を向く

2020年、いま現在の日本を襲った突然の大地震。ごく普通の家族、武藤家の歩と剛の姉弟は大混乱の中、一家4人で東京からの脱出を始めるが、刻々と沈みゆく日本列島は、容赦なく彼らを追い詰めていく。極限状態で突きつけられる、生と死、出会いと別れの選択。途方もない現実と向き合う中、歩と剛は、未来を信じ、懸命に生き抜く強さを身につけていく…

[japansinks2020.com](https://japansinks2020.com)

[@japansinks2020](https://twitter.com/japansinks2020)

©“JAPAN SINKS : 2020” Project Partners



## 11月13日(金) 全国ロードショー

デジタル特典付きムビチケオンライン券 1,600円 (税込 / 当日¥1,800のところ) 発売中! ※ムビチケカードの販売はございません